

口腔顎顔面矯正学分野 特別講演のお知らせ

歯周病を伴う不正咬合の矯正歯科治療について

日 時 : 2015年12月7日(月) 16:30~18:00

場 所 : 歯学部4階 示説室

演 者 : 末石 研二 先生

東京歯科大学歯科矯正学講座 主任教授

講演抄録

現在、日本では少子高齢化社会を迎え、疾病および医療需給の構造的変化が生じている。矯正歯科においても例外ではなく、歯科医学の進歩と矯正歯科治療の社会的認知により、成人患者の増加を認めている。不正咬合に随伴する疾病もう蝕から歯周病や永久歯の欠損歯列および補綴治療歯の存在など、成長期の患者とは異なる歯の移動に対する注意が必要である。

今回の講演では、慢性歯周炎および侵襲性歯周炎罹患患者への矯正治療に関する論考を紹介し、また、矯正治療と歯肉退縮の関係と取り上げられることの少ない、抜歯症例における歯肉嵌入(Gingival invagination)について紹介し、諸兄に御意見をいただければと思います。

尚、本特別講演は大学院口腔科学教育部特別講義を兼ねていますので、大学院生の御来聴を歓迎致します。

連絡先 : 口腔顎顔面矯正学分野 田中 栄二

(088-633-7357 内線5291)

etanaka@tokushima-u.ac.jp